※令和４年度以降入学生用

学校番号	3036

令８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	ウェルビーイングにつなぐ　家庭基礎　（教育図書）						
副教材等	LIFE おとなガイドデジタル＋　（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業を通して生活を豊かにするために必要な知識や技術を身に付け、実生活に活かしましょう。
・家庭生活で必要な知識や技術の習得及び社会の課題と暮らしを結び付けて考える力を養うため、各分野では、実践的・体験的な学習を行います。積極的に取り組んでください。
・自分の生活を見つめ直し、また地域社会の一員としての課題をペアワーク及びグループワークや演習等を通して考えていきます。多様な考えを知り、自分の価値観を築いていきましょう。
・持続可能な社会をつくる暮らしの担い手になることをめざしましょう。

２　学習の到達目標

a：人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている
b：生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている
C：さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・自分、家庭や地域社会の生活に関する課題を解決するため、必要な基礎的・基本的な技術を、身につけることができる。	・自分や家族、家庭、地域の生活にかかわる課題を見つけ、課題解決のための思考を深めて、工夫したり創造したりし、自分の考えをまとめ、判断できる。また、課題解決の学習から導き出した考えを的確に表現することができる。	・人とのかかわり、衣食住などの生活、経済的な観点において、自立した生活に向けて、意欲的に取り組もうとしている。各章の内容について関心を持ち、その充実・向上をめざして意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	青年期の自立と家族・家庭	青年期に必要な自立 日本における家族、家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題	a:自分の生活課題を振り返りながら、青年期が自立の準備をする時期であるということを理解している。また、多様な課題を抱える家族・家庭の実態や課題について理解している。 b:　自分の生活課題などを通して社会課題を捉え、その社会課題の解決に向けて自分ができることはなにか、ということを具体的に考え意見をまとめることができる。 c:多様な家族・家庭の実態や課題について関心を持ち、積極的に考えようとしている。	定期考査 定期考査	定期考査 ワークシート 定期考査 発表	ワークシート ワークシート レポート
	高齢期の生活と福祉	高齢期の心身の変化 高齢者福祉の現状と課題 高齢期の生活	a:高齢者の心身の特徴や高齢者を支える社会制度について理解している。 b:　高齢者の生活実態や課題について地域社会で包括的に支援する方法について考え、表現している。 c:体験学習やグループでの意見交換を積極的に行い、自分の高齢期の自分らしい生き方につなげて考えられる。	定期考査 定期考査 定期考査	定期考査 ワークシート レポート 定期考査	ワークシート レポート ワークシート 振返りシート 観察 ワークシート
	子どもの生活と保育	子どもの心身の特徴や発達 子育て社会の課題	a:子どもの心とからだの発達についてその過程を知り、発達に応じた援助の必要性を理解している。また、発達には愛着形成が重要であることを理解している。 b:子どもの育つ理想的な環境とは何かを想像し、子育てしやすい社会の実現に向けて必要なことを考え表現することができる。 c:子どもへの日常的な応答・関わりについてその重要性に興味・関心を持ち、積極的に関わろうとする姿勢を身につけている。	定期考査 定期考査 製作品 定期考査 定期考査	定期考査 ワークシート 定期考査 レポート ワークシート ワークシート	ワークシート レポート ワークシート 観察 振返りシート ワークシート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	衣生活と健康	衣服の機能と原料 衣服の管理方法と環境問題	a:衣服の機能や原材料による特徴の違いについて理解し、快適に過ごすための工夫について理解している。また基本縫いができる。 b: 製作実習などを通して、TPO や用途に応じた被服の選択ができ、好みのデザインを表現している。 c:自身や家族の衣生活を振り返り、基礎縫いや製作実習に積極的に取り組んでいる。	定期考査 定期考査 製作品 実技ﾃｽﾄ	定期考査 定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ レポート	ﾜｰｸｼｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ 観察 振返りシート
	食生活と健康	生活習慣と食事 栄養素の種類や機能、主な食品の特徴について 食中毒の予防と安全管理	a: 五大栄養素に関する相互の関連性や食品に含まれる栄養素や食品の調理性を踏まえた実践的な技能を身に着けている。 b: 五大栄養素と日常の食生活の関連について理解を深め、健全な食生活を営むために情報収集し、適切な判断をすることができる。 c:自身や家族の食生活から課題を設定し、栄養計算や調理実習を行い、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	定期考査 定期考査 定期考査	定期考査 定期考査 定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ レポート レポート	ﾜｰｸｼｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ 振返りシート 観察 振返りシート
3学期	消費生活と経済計画	消費者と意思決定・契約 社会生活につながる家計	a:消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解するとともに、生活情報を適切に収集・整理できる。 b: 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについておおむね理解するとともに生活情報をおおむね収集・整理している。 c: 自身の進路や職業も含めた生活設計に基づいて具体的にシミュレーションしている。	定期考査 定期考査 定期考査	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ 発表 定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート

※令和４年度以降入学生用

	住生活と住環境	間取りと平面図、よい動線とは 快適な住まいの工夫 災害への備え	a:住まいの役割や豊かで快適な暮らしの実現のための環境の整え方について理解している。 b:平面図や間取り図を読み解き、そこでの暮らしを想像し表現することができる。物件情報を読み取り条件に応じた住まいの選択について考えている。 c：自分にとってより良い住環境について積極的に考える姿勢がつくられている。	定期考査 定期考査 定期考査	定期考査 定期考査 定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート ﾜｰｸｼｰﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
※　「持続可能な消費生活・環境」を第2学年で履修